

◆人文科学研究科 美術史学専攻 博士後期課程 カリキュラムマップ

教育研究上の目的					
美術史学専攻は、美術史について幅広く専門知識を修得し、美術の生成と受容に関する問題や美術と社会の関係に関する歴史的かつ現在の論点など様々な美術史上の課題についての知見を獲得し、自らの研究課題を探求できる人材を養成する。					
ディプロマ・ポリシー					
(知識・技能)					
1 美術史についての自立した専門的研究活動を独自に遂行する能力と高度専門職業人としてふさわしい高度な専門知識を修得している。					
(思考・判断・表現)					
2 美術史の様々な課題について、高度で専門的な知見によって考究し、その過程や結果を論文・レポート・プレゼンテーションなどを通して論理的・創造的に報告、表現することができる。					
(関心・意欲・態度)					
3 明確な問題意識に基づき、自身で目標を設定し、その研究課題を自身で追及していくように取り組むことができる。					
分野系列	科目名	単位	知識・技能	思考・判断・表現	関心・意欲・態度
			1	2	3
【必修科目】	博士論文	0	◎	◎	◎
	博士論文指導	2	◎	◎	◎
【選択必修科目】	日本東洋美術史演習	2 または 4	◎	◎	◎
	西洋美術史演習	2 または 4	◎	◎	◎
	芸術学演習	2 または 4	◎	◎	◎
【選択科目】	日本東洋美術史特殊研究	2 または 4	◎	◎	◎
	西洋美術史特殊研究	2 または 4	◎	◎	◎
	美術館学特殊研究	2 または 4	◎	◎	◎